

令和 4 年 6 月 13 日現在

機関番号：13901

研究種目：国際共同研究加速基金（国際共同研究強化）

研究期間：2017～2021

課題番号：16KK0053

研究課題名（和文）生物多様性に関わる国際認定制度を活用した地方自治体の戦略の定量的比較分析（国際共同研究強化）

研究課題名（英文）Are heritage designations by the UN effective for biodiversity conservation at local level? Challenges for multi-scale collaboration and analysis of strategy by municipalities(Fostering Joint International Research)

研究代表者

香坂 玲 (Kohsaka, Ryo)

名古屋大学・環境学研究科・教授

研究者番号：50509338

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 11,600,000円

渡航期間： 6ヶ月

研究成果の概要（和文）：遺産認定での国際連携や自治体の制度活用の課題となっている国際現場のギャップの統合的分析を実施した。国際認定機関への調査、韓国などアジア諸国と日本における現場レベルの課題の把握を行った。法制度、認定基準などのフォーマルな制度の国際比較と比して限られる実証分析を実施した結果、長期の継承や保全を優先しがちな認定運営機関と、経済や交流人口を重視しがちな現場の関係主体のニーズの差を解明した。「情報の門番」としての科学者・仲介組織と自治体・国際機関の連携が鍵となることを特定した。産品認証（茶・漆・木炭等）に関しては、国際的な地理的表示について、アジアと欧州等の制度運営・活用状況を比較し、相違を解明した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究の成果は国際学術誌や国際学会等で発信しており、自然・文化的景観の保全と活用の国際連携と定量的研究の基盤的知見として活用され得る。中韓の調査拠点のソウル国立大に客員教授として滞在し、観光・農林業・自治体の実務者と研究者と交流し、研究体制を構築した。また、国際認定機関および認定地域の国際連携、遺産・産品認証の活用状況を調査・分析し、結果、日中韓の自治体と国際機関の意識ギャップが特定され、起因する問題の克服、地域認定を地域戦略にて活用する日中韓モデルの構築、連携ネットワークの拡充、地方行政・生産者協会等の実務者の連携促進ができた。結果、現場と国際機関の双方向対話を内包した認定制度の構想を得た。

研究成果の概要（英文）：We conducted an analysis of the gaps between international and local levels and solutions, which hindered collaborations and utilization of the heritage systems by local governments. Concretely, we conducted a survey of international organizations of the designation systems and responses at the local municipality and prefecture level mainly in Korea and Japan. Compared to formal systems such as legal systems and standards of regional designation systems, findings in the fields are limited. As a result, we identified the difference between the expectations of international organizations, which prioritize inheritance and conservation, and the needs of local actors, which expect economic development. We also detected that collaboration between the international organizations and local actors is a key to utilize the systems. Regarding the status of utilization of product certification, utilization status of geographical indication systems in Asia and Europe was identified.

研究分野：自然資源管理

キーワード：生物多様性保全 資源管理 地域認定 産品認証 世界農業遺産 地理的表示 自治体戦略 景観保全

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

様式 C-19、F-19-1、Z-19（共通）

1. 研究開始当初の背景

研究開始の背景として、(1) 地域（東アジア-欧州）及び (2) 制度-現場という二つの比較が問題意識にあった。研究代表者の香坂は、これまでアジアの森林伝統知研究の日中韓共同座長（ソウル国立大も参画）を務めるなど、東アジアのフィールド並びに理論面で多層的に交流をしてきた。滞在先のソウル国立大（森林科学の Youn Yeo-Chang 教授、Misun Park 准教授ら）とは、2010年以降、文化的景観を軸とした研究で、経済協力開発機構(OECD)の国際共同研究プログラム（CRP）助成等の国際学会で相互に招聘し、国際学会誌で共同編集をおこない、さらに客員教授となる等、連携を深めてきた。加えて、英独への留学（フライブルク大学・森林環境学分野での博士号取得）、国連環境計画等での勤務の経験以来、欧州との研究交流を重ねてきた。また、産品認証の調査・研究にも携わり、特に地理的表示（GI）では、国内の設立期よりガイドラインの策定、活用推進を実施した。このような国際研究ネットワーク、地域認定・産品認証の研究蓄積から、遺産・産品認証の登録におけるグローバルとローカルの相克や緊張関係およびアジアと欧州との相違に着眼してきた。そうしたギャップや相違、そして効果を比較する国際研究の意図が背景・動機にあった。

国際的な学術的意義と合わせ、実務の課題解決に向けた取り組みも急務である。自治体の目線では、観光と景観・生態系の保全のバランスと対処の問題が頻発しており、大きな課題となっている。加えて、「日本農業遺産」等のナショナルな認定が導入され、変化しつつある認定制度の動向を捉える必要があった。このように制度や領域が複線化・多層化する現状への対処、国連レベルの国際制度と現場のギャップが顕在化していたが、研究面では、実情として、個別の分野や制度の動向を分析することが優先されている。

もともと本研究の基課題（基盤研究C）では以下のことが解明された；(i) 重複認定では、同一自治体でも認定毎に担当組織が異なるため、連携・コミュニケーションが不足した場合、目的や資源が自治体内で共有されず、複数の認定を相乗的に活用できない（Kohsaka & Matsuoka 2015）。また、(ii) 認定を受けることに対する地元住民の主な期待が経済的効果（観光客の増加、産品の高付加価値化）であるのに対し、認定制度は環境保全や農林漁業の営みの継続を目的としているため、短期的には農林産品の価格向上につながらない。そのため、認定制度の目的と地元住民の期待とが一致しないという状況が起こっている。さらに、(iii) 現場のニーズや制度運営の困難さ等の実情を国際・国内の認定機関が把握しきれていない。そして、(iv) 国際・国内の認定自治体のネットワークが存在し、部分的には知見の共有や情報発信等の面での利点が認められているものの、認定エリアや参加自治体の拡大、認定地数の急な伸びに対応しきれていない実情が判明した。

2. 研究の目的

基課題の研究を発展させる本研究の目的は、現場と国際機関の双方向対話を内包した認定制度の構想に寄与することである。具体的には、基課題で特定された自治体と国際認定機関の間に存在する制度の目的に関する齟齬や温度差に対し、両者の意図と継続可能性を内包した制度設計を提言することを目的とした。更に欧州および東アジアの経験の対比という観点から、複数の地域認定と産品認証を統合的に分析し、認定制度の設計・活用を包含する研究を進展させることを目的とした。また、国際機関や制度側の分析と合わせ、現場のローカルな自治体から広範な認定地域間の連携、地域認定と産品認証を一体的に分析することも目的とした（産品や遺産の登録における地名の貿易等での表示ルールに象徴されるような、ローカルな事象と国際課題が入れ子構造になっている実情を前提とした）。

こうした目的に向けて、基課題の研究範囲を超えた国際機関や自治体戦略のための海外情報共有を含め、双方向的で国際的クロススケールの3つの課題、①関係主体のニーズの可視化・共有、②認定に関する取り組みの地域戦略への組み込み（内部化）、③国際連携のための情報基盤の構築、に関する調査研究を実施した。

中国・雲南、韓国・青山島等との国際事例の比較研究を通じ、模範や失敗の事例紹介、あるいは、ややもするとお国自慢的な言説に絡めてとられてしまいがちな観光地・遺産の紹介に関して、議会の議事録、観光客・製品の動向といった科学的データに基づく冷静な議論をすることも意図されている。そのようなエビデンス・データが基礎となり、国際的な経験の交流、国境を越えた自治体間の補完や連携を促すことを意図した研究実践が可能となると考えていた。

本申請に先行する形で代表者は、国内の多数の自治体から協力を得ており、世界農業遺産「能登の里山里海」の認定を受けている石川県、ジオパーク認定を受けている新潟県・糸魚川市より、学術調査の支援を受けるなど、既に国内の自治体とのネットワークが構築されていた。そのプロセスを通じ、国内で醸成されていた分野横断性、社会連携を発展させつつ、韓国・中国および欧州と国際的な連携を連結させることが国際会議及び交流を通じ意図された。結果、①日中韓および欧州の研究者による、国際機関と認定地域並びに認定地域間の連携強化のための共同研究の基盤形成と、②日本と中韓における社会還元のための地方行政・生産者協会等の実務者との連携促進がなされた。

具体的な地域間連携の代表的例として、糸魚川市と香港のジオパークの連携があり、同連携では修学旅行生や事務局の担当者レベルの交流は活発に行われている。しかし、そこでの国際認定機関の役割、交流の成果、今後の発展性を考察する学術的枠組みが不在であった。また、農業遺産を背景とした地域ブランドの形成や景観保全に積極的な韓国の済州（4種の認定）や日本の佐渡（3種の認定）などの複数の認定に着眼した。そのような重複認定を踏まえた自治体と国際認定機関の連携、制度設計の方法論の構築が課題となっており、本研究で取り組んだ。

基課題で把握された問題の要因として、観光振興や製品の付加価値化に重点を置く自治体、環境保全や生業の継承等を主目的とする制度運営機関、多様なニーズをもつ観光客の間での意識ギャップと連携の不調和がある。その解消には制度の目的の再確認、現場との対話を促進しつつ、国際的クロススケールの課題①～③に取り組むことが必要となるため、本研究で取り組んだ。

3. 研究の方法

定性的な事例比較に加え、議事録・インタビューの Text Mining、製品（在来品種・生きものマーク）・観光客利用の動的動向の定量的把握を主眼とした。特に日中韓では、国内版の農業遺産制度が相次いで導入される一方で世界農業遺産への期待が高まり、ジオパーク等では環境保全施策、インバウンド観光対策等のノウハウ・技術共有の国際連携が活発化している。そこで、①各主体のニーズの可視化では、基課題に対して発展的に中韓の認定地域を調査した。その際、現場の個別性と普遍的な基準や指標がどこで齟齬をきたすかを考察し、現状を評価するための評価指標の構築に資する基礎調査を実施した。②認定の地域戦略の内部化では、地域認定の目的と地域戦略を融合させる製品認証制度等の施策を検証し、効果を分析した。具体的には人材登録・育成、地名を冠した製品の保護（地理的表示）等の施策を評価した。③国際基盤情報の構築では、①と②の調査結果から得られた示唆を国内外の事例に援用すべく情報整備を進めた。結果、地域毎の認定制度活用における課題と可能性が明らかになった。

4. 研究成果

(1)学術研究成果の内容

客員教授となったソウル国立大学の農学部森林科学専攻を拠点に、まず日韓にて認定地域の

自治体を中心とした関連主体のニーズ及び地域資源等について調査を行った。特に、韓国では済州を対象に、世界遺産、ジオパーク、エコパーク、世界農業遺産の認定を受けている自治体としての広報戦略や、観光振興策に関する広報資料を収集、基盤情報として整備した。産品認証に関しては国際的な活用状況について、タイ等の東南アジアの国を含めて、現時点での地理的表示等の産品認証の活用状況を明らかにした。また、アジア地域を中心とした地理的表示の制度運営・活用状況を分析し (Kohsaka & Uchiyama, 2021)、文献や国際学会での資料の調査を通じて今後の分析において必要な資料の収集と、国際的な共同研究を展開するために必要な研究者、実務家のネットワークの構築を行った。具体的な成果は、地域認定の活用状況、認知度、伝統的産品の生産、価格等に対する影響を解析した成果を取りまとめて、国際学術誌において発表した (Kohsaka et al. 2019; Miyake et al. 2021; Miyake & Kohsaka 2022)。

日本では、石川県の能登、宮城県の大崎等を対象として、農業遺産の運営に関わる民間事業者や行政等の組織を対象として、組織間の連携状況について認定前後の変化を明らかにした (Inoue et al. 2020)。同様の手法を韓国の認定地域 (青山島等) を対象とした調査にも応用すべく、韓国のカウンターパートと調整・連携を進めた。

また、オーストリアのウィーン農科大学 (BOKU) より、Marianne Penker 教授を招聘し、国際的な地域認定、産品認証制度に関する共同調査を行い、研究期間後の将来的な共同研究の計画を立案することもできた。また、ドイツ連邦自然保護庁 (BfN) の Manfred Klein 博士と、チューリッヒ大学の Cornelia Krug 博士らも招聘し、生物多様性保全に取り組む他の国際プロジェクトとも連携を進めることができた。

(2)学術的成果発信

研究を円滑に遂行すべく客員教授となったソウル国立大学をはじめ、研究者を含む主に在韓の専門家と連携をし、国際共著論文を發表することができた。具体的な成果としては、国際学術誌 *Journal of Ethnic Foods* において特集号を編集し、科研データベースのリストに記載した論文を發表した (伝統養蜂については Kohsaka et al. 2017)。国際会議では中韓およびドイツの観光や森林政策に関する学会にて發表を行い、韓国にて開催されたアジアの伝統知保全 (Kohsaka et al. 2020; Kohsaka & Rogel 2021) に関する学会及びタイのアジア工科大学院 (AIT) の国際会議で招待講演をした。韓国において開催された *Circular Economy for Agri-Food Resource Management* の会議ではセッションの司会及び招待講演をした。また、成果は、国際学術誌 *Journal of Rural Studies* (Kohsaka & Miyake 2021; Tashiro et al. 2019)、*Forest Ecology and Management* (Kohsaka et al. 2021) 等においても發表した。

国際会議の企画も行い、韓国の受け入れ教員の Youn Yeo-Chang ソウル国立大学教授、本研究の共同研究者である Liu Jinlong 中国人民大学教授を含めた形での公開シンポジウム「人と森とSDGs 東アジアからの報告」が日本森林学会大会 (2020年:名古屋大学)において企画された (新型コロナ対策で開催は中止されたものの、情報交換を密にした)。

さらに、国際オンラインワークショップを企画・開催し、日中韓、マレーシア、オーストリア等の伝統的産品や地域認定を活用した観光、地域資源管理等に関する議論を行い、海外のカウンターパートとの連携強化を進め、伝統的産品を活用した手法について新たな連携先やネットワークの拡大を行った。具体的には、共同研究者の Liu Jinlong 教授を含めた登壇者による伝統的産品及び知識継承に関するワークショップと、地域資源管理手法としてグリーンインフラの視点を取り入れたワークショップを開催した。後者では本研究に加え学内の予算も活用して招聘したウィーン農科大学 (BOKU) の Marianne Penker 教授も登壇者として参画する形で実施した。

(3)社会還元

生物多様性及び生態系サービスに関する政府間科学政策プラットフォーム（IPBES）の総会に日本政府代表団として参画し、アジア太平洋地域の評価報告書では、第一章の調整役代表執筆者（CLA）として、生物多様性保全に係る地域認定の研究の成果を発信した。関連する会議にてドイツの政府系研究機関よりライプチヒでの国際会議等へ招聘を受けた。IPBES には政府選出による外部レビュー者のメンバー、野生生物の持続的利用に関する評価報告書の査読編集者としても参画し、成果発信をした。生物多様性条約では、政府指名の専門部会の委員となった。また、生物多様性の利活用手段としてのバイオミメティクスの規格化である ISO TC 266 の WG4 の座長を務め、成果を国際的に還元した。国内では、日本学術振興会の連携会員（環境学）として成果還元を進めている。

<引用文献>

- ① Kohsaka, R., & Miyake, Y. (2021). The politics of quality and geographic indications for non-timber forest products: Applying Convention Theory beyond food contexts. *Journal of Rural Studies*, 88, 28-39.
- ② Miyake, Y., & Kohsaka, R. (2022). Discourse of quality and place in geographical indications: Applying convention theory to Japanese tea. *Food Reviews International*, 1-26.
- ③ Kohsaka, R., Ito, K., Miyake, Y., & Uchiyama, Y. (2021). Cultural ecosystem services from the afforestation of rice terraces and farmland: Emerging services as an alternative to monoculturalization. *Forest Ecology and Management*, 497, 119481.
- ④ Kohsaka, R., & Uchiyama, Y. (2021). Geographical Indications and Regional Trade Agreements: Facilitating International Partnerships for Sustainable Development. In: Leal Filho W., Marisa Azul A., Brandli L., Lange Salvia A., Wall T. (eds) *Partnerships for the Goals. Encyclopedia of the UN Sustainable Development Goals*. Springer, Cham. https://doi.org/10.1007/978-3-319-95963-4_15
- ⑤ Kohsaka, R., & Rogel, M. (2021). Traditional and Local Knowledge for Sustainable Development: Empowering the Indigenous and Local Communities of the World. In: Leal Filho W., Marisa Azul A., Brandli L., Lange Salvia A., Wall T. (eds) *Partnerships for the Goals. Encyclopedia of the UN Sustainable Development Goals*. Springer, Cham. https://doi.org/10.1007/978-3-319-95963-4_17
- ⑥ Miyake, Y., Uchiyama, Y., Fujihira, Y., & Kohsaka, R. (2021). Towards Evidence Based Policy Making in GIAHS: Convention Theory and Effects of GIAHS Registration on the Wholesale and Retail Trade of Traditional and Local Vegetables. *Sustainability*, 13 (10) , 5330.
- ⑦ Kohsaka, R., Tashiro, A., Rogel, M., & Uchiyama, Y. (2020). Sustaining Diverse Knowledge Systems in SEPLs: Sharing Tacit Knowledge of Apiculture and Mushroom Production with Future Generations. In *Sharing Ecosystem Services* (pp. 117-136) . Springer, Singapore.
- ⑧ Inoue, S., Ito, N., Uchiyama, Y., & Kohsaka, R. (2020). Sustainable Development Utilizing Local Agricultural Resources: A Network Analysis of Interorganizational Collaborations in Tsuruoka, Noto, and Aso in Japan. *Japanese Journal of Agricultural Economics*, 22, 95-100.
- ⑨ Kohsaka, R., Matsuoka, H., Uchiyama, Y., & Rogel, M. (2019). Regional management and biodiversity conservation in GIAHS: text analysis of municipal strategy and tourism management. *Ecosystem Health and Sustainability*, 5 (1) , 124-132.
- ⑩ Tashiro, A., Uchiyama, Y., & Kohsaka, R. (2019). Impact of Geographical Indication schemes on traditional knowledge in changing agricultural landscapes: An empirical analysis from Japan. *Journal of Rural Studies*, 68, 46-53.
- ⑪ Kohsaka, R., Park, M. S., & Uchiyama, Y. (2017). Beekeeping and honey production in Japan and South Korea: past and present. *Journal of Ethnic Foods*, 4 (2) , 72-79.
- ⑫ Kohsaka, R., & Matsuoka, H. (2015). Analysis of Japanese municipalities with Geopark, MAB, and GIAHS certification: quantitative approach to official records with text-mining methods. *SAGE Open*, 5 (4) , 1-10.

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計59件（うち査読付論文 47件 / うち国際共著 10件 / うちオープンアクセス 13件）

1. 著者名 Quevedo Jay Mar D., Uchiyama Yuta, Kohsaka Ryo	4. 巻 128
2. 論文標題 A blue carbon ecosystems qualitative assessment applying the DPSIR framework: Local perspective of global benefits and contributions	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Marine Policy	6. 最初と最後の頁 104462 ~ 104462
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.marpol.2021.104462	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Quevedo Jay Mar D., Uchiyama Yuta, Kohsaka Ryo	4. 巻 1
2. 論文標題 Local perceptions of blue carbon ecosystem infrastructures in Panay Island, Philippines	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Coastal Engineering Journal	6. 最初と最後の頁 1 ~ 21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/21664250.2021.1888558	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Mitsuyuki Tomiyoshi, Yuta Uchiyama, Ryo Kohsaka	4. 巻 26(2)
2. 論文標題 Evaluating plant genetic diversity maintained by local farmers and residents: A comprehensive assessment of continuous vegetable cultivation and seed-saving activities on a regional scale in Japan	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 The International Journal of Sociology of Agriculture and Food	6. 最初と最後の頁 111~142
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.48416/ij saf.v26i2.433	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Quevedo Jay Mar D., Uchiyama Yuta, Muhamad Lukman Kevin, Kohsaka Ryo	4. 巻 13
2. 論文標題 How Blue Carbon Ecosystems Are Perceived by Local Communities in the Coral Triangle: Comparative and Empirical Examinations in the Philippines and Indonesia	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Sustainability	6. 最初と最後の頁 127 ~ 127
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/su13010127	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Lukman Kevin Muhamad, Uchiyama Yuta, Quevedo Jay Mar D., Kohsaka Ryo	4. 巻 203
2. 論文標題 Local awareness as an instrument for management and conservation of seagrass ecosystem: Case of Berau Regency, Indonesia	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Ocean & Coastal Management	6. 最初と最後の頁 105451 ~ 105451
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ocecoaman.2020.105451	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Miyake Yoshitaka, Uchiyama Yuta, Kohsaka Ryo	4. 巻 10
2. 論文標題 Status and trends of urban organic agricultural policy in Japan: the survey on ordinance designated cities	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Organic Agriculture	6. 最初と最後の頁 497 ~ 508
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s13165-020-00311-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kajima Shuichiro, Uchiyama Yuta, Kohsaka Ryo	4. 巻 25
2. 論文標題 Private forest landowners' awareness of forest boundaries: case study in Japan	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Forest Research	6. 最初と最後の頁 299 ~ 307
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/13416979.2020.1777627	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Quevedo Jay Mar D., Uchiyama Yuta, Kohsaka Ryo	4. 巻 191
2. 論文標題 Perceptions of the seagrass ecosystems for the local communities of Eastern Samar, Philippines: Preliminary results and prospects of blue carbon services	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Ocean & Coastal Management	6. 最初と最後の頁 105181 ~ 105181
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ocecoaman.2020.105181	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 香坂玲	4. 巻 51(2)
2. 論文標題 SDGsを具現化するための生物多様性地域戦略, 理解から実行へ	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 地方議会人	6. 最初と最後の頁 12-17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 香坂玲	4. 巻 62(735)
2. 論文標題 生物多様性地域戦略と自治体 ~ 次期国家戦略とローカルな実践	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 自治研	6. 最初と最後の頁 25-33
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 香坂玲, 内山愉太, 江原誠	4. 巻 35
2. 論文標題 生態系サービスと「自然がもたらすもの」(NCP)をめぐる人と自然の関係性: グローバルな科学政策インターフェースのとしてのIPBESを事例に	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 社会と倫理	6. 最初と最後の頁 21 ~ 37
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 香坂玲	4. 巻 3/4(217)
2. 論文標題 生物多様性条約、COP10からの10年とこれからの地方自治体	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 環境と正義	6. 最初と最後の頁 24-25
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 香坂玲	4. 巻 56(9)
2. 論文標題 不確実な時代における科学と政治・政策の対話：生物多様性・生態系サービスから考える	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 環境管理	6. 最初と最後の頁 40-44
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 香坂玲	4. 巻 102(4)
2. 論文標題 書評 水野祥子著 「エコロジーの世紀と植民地科学者:イギリス帝国・開発・環境」	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本森林学会誌	6. 最初と最後の頁 277 ~ 278
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kajima Shuichiro, Uchiyama Yuta, Kohsaka Ryo	4. 巻 12
2. 論文標題 Intellectual Property Strategies for Timber and Forest Products: The Case of Regional Collective Trademark Applications by Japanese Forestry Associations	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Sustainability	6. 最初と最後の頁 1988 ~ 1988
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/su12051988	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Quevedo Jay Mar D., Uchiyama Yuta, Kohsaka Ryo	4. 巻 191
2. 論文標題 Perceptions of the seagrass ecosystems for the local communities of Eastern Samar, Philippines: Preliminary results and prospects of blue carbon services	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Ocean & Coastal Management	6. 最初と最後の頁 105181 ~ 105181
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ocecoaman.2020.105181	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sotaro Inoue, Noriko Ito, Yuta Uchiyama, Ryo Kohsaka	4. 巻 22
2. 論文標題 Sustainable Development Utilizing Local Agricultural Resources: A Network Analysis of Inter-organizational Collaborations in Tsuruoka, Noto, and Aso in Japan	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Agricultural Economics	6. 最初と最後の頁 95 - 100
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 井上荘太郎, 伊藤紀子, 高橋克也, 市川容子, 香坂玲, 内山愉太	4. 巻 57(4)
2. 論文標題 地域振興における多様な組織の連携構造 - 鶴岡市における社会ネットワーク分析 -	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 農業経営研究	6. 最初と最後の頁 19 - 24
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Stevance Anne-Sophie, Bridgewater Peter, Louafi Selim, King Nicholas, Beard T. Douglas, Van Jaarsveld Albert S., Ofir Zenda, Kohsaka Ryo, Jenderedijan Karen, Rosales Benites Marina, Mulongoy Kalemani Joseph, Chaudhari Kalpana Lalitkumar, Painter James, Meter Andrew	4. 巻 16
2. 論文標題 The 2019 review of IPBES and future priorities: reaching beyond assessment to enhance policy impact	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Ecosystems and People	6. 最初と最後の頁 70 ~ 77
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/26395916.2019.1702590	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Patrick Schroder, Alexander S. Antonarakis, Jana Brauer, Abu Conteh, Ryo Kohsaka, Yuta Uchiyama, Pablo Pacheco	4. 巻 386
2. 論文標題 SDG 12: Responsible Consumption and Production; Potential Benefits and Impacts on Forests and Livelihoods	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Sustainable Development Goals: Their Impacts on Forests and People	6. 最初と最後の頁 386-418
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Quevedo Jay Mar D., Uchiyama Yuta, Kohsaka Ryo	4. 巻 25
2. 論文標題 Perceptions of local communities on mangrove forests, their services and management: implications for Eco-DRR and blue carbon management for Eastern Samar, Philippines	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Forest Research	6. 最初と最後の頁 1~11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/13416979.2019.1696441	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Uchiyama Yuta, Kohsaka Ryo	4. 巻 106
2. 論文標題 Application of the City Biodiversity Index to populated cities in Japan: Influence of the social and ecological characteristics on indicator-based management	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Ecological Indicators	6. 最初と最後の頁 105420 ~ 105420
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ecolind.2019.05.051	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Lukman Kevin Muhamad, Quevedo Jay Mar D., Kakinuma Kaoru, Uchiyama Yuta, Kohsaka Ryo	4. 巻 24
2. 論文標題 Indonesia Provincial Spatial Plans on mangroves in era of decentralization: Application of content analysis to 27 provinces and "blue carbon" as overlooked components	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Forest Research	6. 最初と最後の頁 341 ~ 348
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/13416979.2019.1679328	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Imai Haruka, Nakashizuka Tohru, Kohsaka Ryo	4. 巻 47
2. 論文標題 A Multi-Year Investigation of the Factors Underlying Decreasing Interactions of Children and Adults with Natural Environments in Japan	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Human Ecology	6. 最初と最後の頁 717 ~ 731
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10745-019-00108-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kohsaka Ryo, Uchiyama Yuta	4. 巻 101
2. 論文標題 Development of Geographic Indications Applied to Forest Products:	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of the Japanese Forest Society	6. 最初と最後の頁 242 ~ 245
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4005/jjfs.101.242	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ryo Kohsaka, Ai Tashiro, Marie Rogel, Yuta Uchiyama	4. 巻 -
2. 論文標題 Sustaining Diverse Knowledge Systems in SEPLs: Sharing Tacit Knowledge of Apiculture and Mushroom Production with Future Generations	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Sharing Ecosystem Services	6. 最初と最後の頁 117-136
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 香坂玲	4. 巻 24(2)
2. 論文標題 ポスト2020目標と生物多様性及び生態系サービスに関する政府間科学-政策プラットフォーム (IPBES) の役割	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Wildlife Forum 「野生生物と社会」学会	6. 最初と最後の頁 31-33
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kohsaka Ryo, Kajima Shuichiro	4. 巻 101
2. 論文標題 Geographic Indications Applied to Forest Products	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of the Japanese Forest Society	6. 最初と最後の頁 128 ~ 133
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4005/jjfs.101.128	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kohsaka Ryo, Matsuoka Hikaru, Uchiyama Yuta, Rogel Marie	4. 巻 5
2. 論文標題 Regional management and biodiversity conservation in GIAHS: text analysis of municipal strategy and tourism management	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Ecosystem Health and Sustainability	6. 最初と最後の頁 124 ~ 132
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/20964129.2019.1610336	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 D?ringer Stefanie, Uchiyama Yuta, Penker Marianne, Kohsaka Ryo	4. 巻 28
2. 論文標題 A meta-analysis of shrinking cities in Europe and Japan. Towards an integrative research agenda	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 European Planning Studies	6. 最初と最後の頁 1693 ~ 1712
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/09654313.2019.1604635	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Tashiro Ai, Uchiyama Yuta, Kohsaka Ryo	4. 巻 68
2. 論文標題 Impact of Geographical Indication schemes on traditional knowledge in changing agricultural landscapes: An empirical analysis from Japan	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Rural Studies	6. 最初と最後の頁 46 ~ 53
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jrurstud.2019.03.014	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kohsaka Ryo, Fujihira Yoshinori, Uchiyama Yuta	4. 巻 10
2. 論文標題 Biomimetics for business? Industry perceptions and patent application	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Science and Technology Policy Management	6. 最初と最後の頁 597 ~ 616
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1108/JSTPM-05-2018-0052	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 KOHSAKA Ryo, UCHIYAMA Yuta, TASHIRO Ai	4. 巻 84
2. 論文標題 Loss of traditional knowledge and innovation in the context of shrinking communities and depopulation	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Health and Human Ecology	6. 最初と最後の頁 214 ~ 223
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3861/kenko.84.6_214	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Imai Haruka, Nakashizuka Tohru, Kohsaka Ryo	4. 巻 4
2. 論文標題 An analysis of 15 years of trends in children's connection with nature and its relationship with residential environment	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Ecosystem Health and Sustainability	6. 最初と最後の頁 177 ~ 187
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/20964129.2018.1511225	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tashiro Ai, Uchiyama Yuta, Kohsaka Ryo	4. 巻 5
2. 論文標題 Internal processes of Geographical Indication and their effects: an evaluation framework for geographical indication applicants in Japan	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Ethnic Foods	6. 最初と最後の頁 202 ~ 210
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jef.2018.07.004	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kohsaka Ryo, Fujihira Yoshinori, Uchiyama Yuta, Kajima Shuichiro, Nomura Shuhei, Ebinger Frank	4. 巻 60
2. 論文標題 Public Perception and Expectations of Biomimetics Technology: Empirical Survey of Museum Visitors in Japan	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Curator: The Museum Journal	6. 最初と最後の頁 427 ~ 444
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cura.12246	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 久慈淳一郎, 内山愉太, 松岡光, 香坂玲	4. 巻 3
2. 論文標題 日本企業の環境負荷軽減に対する取り組みの経年変化の考察に向けた先行研究レビュー ; 統合報告書に着目して	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 久留米大学ビジネス研究	6. 最初と最後の頁 45-64
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tashiro Ai, Uchiyama Yuta, Kohsaka Ryo	4. 巻 7(3)
2. 論文標題 Marine Circular Economy towards Post-Disaster Reconstruction for Sustainability: Experiences in a Small Coastal Town of Northeast Japan	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 European Journal of Sustainable Development	6. 最初と最後の頁 81-89
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14207/ejsd.2018.v7n3p81	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kohsaka,R., Rogel,M.	4. 巻 掲載確定 印刷中
2. 論文標題 Traditional and Local Knowledge for Sustainable Development: Empowering the Indigenous and Local Communities of the World, Encyclopedia of the UN Sustainable Development Goals. Partnerships for the Goals	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Book Encyclopedia Chapter Springer Nature	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tashiro,A., Kohsaka,R.	4. 巻 掲載確定 印刷中
2. 論文標題 Universal Health Coverage: Healthcare system for Universal Health Coverage under Partnerships, Encyclopedia of the UN Sustainable Development Goals. Partnerships for the Goals	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Book Encyclopedia Chapter Springer Nature	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kohsaka, R., Uchiyama, Y.	4. 巻 掲載確定 印刷中
2. 論文標題 Geographical Indications and Regional Trade Agreements: Facilitating International Partnerships for Sustainable Development, Encyclopedia of the UN Sustainable Development Goals. Partnerships for the Goals	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Book Encyclopedia Chapter Springer Nature	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 香坂玲	4. 巻 84(11)
2. 論文標題 商標・地理的表示の保護の活用による産地ブランドの確立	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 農業と経済	6. 最初と最後の頁 50-59
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kohsaka, R., Roger, M.	4. 巻 掲載確定 印刷中
2. 論文標題 Place branding and use of geographical indications for rural community development in agriculture and forestry: Cases in Japan	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Proceedings of International Forum on Education for Rural Transformation (IFERT)	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 香坂玲, 梶間周一郎, 田代藍, 内山愉太	4. 巻 15(1)
2. 論文標題 農林業分野における地理的表示の分析：産品の時間・空間的多層性と制度の関係性に着目して	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本知財学会誌	6. 最初と最後の頁 4-10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kohsaka,R., Kajima,S., Tashiro,A., Uchiyama,Y., Park,MS.	4. 巻 掲載確定 印刷中
2. 論文標題 Analysis of Geographical Indications in agriculture and forestry: Focusing on the spatio-temporal multilayer of local products	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Proceedings of the 2018 Circular Economy Conference	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Kaze Soichiro, Kajima Shuichiro, Uchiyama Yuta, Kohsaka Ryo	4. 巻 99
2. 論文標題 Introducing Wood Log Boilers in Spa Facilities:	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of the Japanese Forest Society	6. 最初と最後の頁 18 ~ 23
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4005/jjfs.99.18	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Uchiyama Yuta, Kohsaka Ryo	4. 巻 198
2. 論文標題 Spatio-temporal Analysis of Biodiversity, Land-use Mix and Human Population in a Socio-ecological Production Landscape: A Case Study in the Hokuriku Region, Japan	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Procedia Engineering	6. 最初と最後の頁 219 ~ 226
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.proeng.2017.07.086	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kohsaka Ryo, Uchiyama Yuta	4. 巻 198
2. 論文標題 Motivation, Strategy and Challenges of Conserving Urban Biodiversity in Local Contexts: Cases of 12 Municipalities in Ishikawa, Japan	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Procedia Engineering	6. 最初と最後の頁 212 ~ 218
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.proeng.2017.07.085	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kohsaka Ryo, Park Mi Sun, Uchiyama Yuta	4. 巻 4
2. 論文標題 Beekeeping and honey production in Japan and South Korea: past and present	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of Ethnic Foods	6. 最初と最後の頁 72 ~ 79
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jef.2017.05.002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Sato Jun, Kohsaka Ryo	4. 巻 4
2. 論文標題 Japanese sake and evolution of technology: A comparative view with wine and its implications for regional branding and tourism	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of Ethnic Foods	6. 最初と最後の頁 88 ~ 93
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jef.2017.05.005	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kohsaka Ryo	4. 巻 4
2. 論文標題 The myth of washoku : a twisted discourse on the "uniqueness" of national food heritages	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of Ethnic Foods	6. 最初と最後の頁 66 ~ 71
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jef.2017.05.004	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Uchiyama Yuta, Tanaka Yushi, Matsuoka Hikaru, Kohsaka Ryo	4. 巻 4
2. 論文標題 Expectations of residents and tourists of agriculture-related certification systems: analysis of public perceptions	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of Ethnic Foods	6. 最初と最後の頁 110 ~ 117
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jef.2017.05.003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Uchiyama Yuta, Matsuoka Hikaru, Kohsaka Ryo	4. 巻 4
2. 論文標題 Public recognition of traditional vegetables at the municipal level: Implications for transgenerational knowledge transmission	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of Ethnic Foods	6. 最初と最後の頁 94 ~ 102
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jef.2017.05.007	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Gugerell Katharina, Uchiyama Yuta, Kieninger Pia R., Penker Marianne, Kajima Shuichiro, Kohsaka Ryo	4. 巻 4
2. 論文標題 Do historical production practices and culinary heritages really matter? Food with protected geographical indications in Japan and Austria	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of Ethnic Foods	6. 最初と最後の頁 118 ~ 125
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jef.2017.05.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kajima Shuichiro, Tanaka Yushi, Uchiyama Yuta	4. 巻 4
2. 論文標題 Japanese sake and tea as place-based products: a comparison of regional certifications of globally important agricultural heritage systems, geopark, biosphere reserves, and geographical indication at product level certification	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of Ethnic Foods	6. 最初と最後の頁 80 ~ 87
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jef.2017.05.006	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kizos Thanasis, Kohsaka Ryo, Penker Marianne, Piatti Cinzia, Vogl Christian Reinhard, Uchiyama Yuta	4. 巻 119
2. 論文標題 The governance of geographical indications	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 British Food Journal	6. 最初と最後の頁 2863 ~ 2879
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1108/bfj-01-2017-0037	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Plieninger Tobias, Kohsaka Ryo, Bieling Claudia, Hashimoto Shizuka, Kamiyama Chiho, Kizos Thanasis, Penker Marianne, Kieninger Pia, Shaw Brian J., Sioen Giles Bruno, Yoshida Yuki, Saito Osamu	4. 巻 13
2. 論文標題 Fostering biocultural diversity in landscapes through place-based food networks: a “solution scan” of European and Japanese models	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Sustainability Science	6. 最初と最後の頁 219 ~ 233
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11625-017-0455-z	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 香坂玲・内山愉太	4. 巻 81(4)
2. 論文標題 都市生物多様性指標の国際的動向～世界の都市は指標をどう活用しているか	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ランドスケープ研究	6. 最初と最後の頁 336-339
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 M. Ehara, K. Hyakumura, R. Sato, K. Kurosawa, K. Araya, H. Sokh, R. Kohsaka	4. 巻 -
2. 論文標題 Addressing maladaptive coping strategies of local communities to changes in ecosystem service provisions using the DPSIR framework	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Ecological Economics	6. 最初と最後の頁 印刷中
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

〔学会発表〕 計84件（うち招待講演 26件 / うち国際学会 43件）

1. 発表者名 香坂玲, 内山愉太
2. 発表標題 森林環境譲与税を活用した都道府県による 市町村支援の概況と課題
3. 学会等名 第132回日本森林学会大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 香坂玲
2. 発表標題 愛知・名古屋から考える農林業のテロワール・土地利用
3. 学会等名 環境共生・環境創造 講演会 環境創造研究センター（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 香坂玲
2. 発表標題 生物多様性SDGs と私たち ~10年をふりかえり、SDGs 達成、自然共生社会の構築へ
3. 学会等名 経団連自然保護協議会 生物多様性民間参画パートナーシップ 第9回会員会合企画（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 香坂玲, 内山愉太, 三宅良尚
2. 発表標題 里山・有機農業がもたらす生物多様性
3. 学会等名 なごや環境大学（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 香坂玲
2. 発表標題 プロジェクト紹介 農林業生産と環境保全を両立する政策の推進に向けた合意形成 手法の開発と実践
3. 学会等名 名古屋大学フューチャー・アース研究センター ウェビナー2020 森と地域を舞台に、フューチャー・アース（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 香坂玲, 内山愉太, 鈴木睦昭
2. 発表標題 生物多様性条約の伝統的知識を巡る概況
3. 学会等名 日本学術大会 第18回年次学術研究発表会 (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 香坂玲, 内山愉太
2. 発表標題 生物多様性、遺伝資源の保全と伝統的知識の保護・継承 の国内外の動向
3. 学会等名 日本学術大会 第18回年次学術研究発表会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 香坂玲
2. 発表標題 Status and Trends of Green Infrastructure
3. 学会等名 グリーンインフラ・都市農業国際ワークショップ (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 香坂玲, 三宅良尚
2. 発表標題 循環型農林水産景観としいたけ栽培の長期的な変遷と価値の (再) 発見 気候変動時代の低温品種の戦略
3. 学会等名 循環型農林水産景観の動的継承に向けて: しいたけ栽培の価値の活用についての熟議型ワークショップ 大分県・国東市
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 内山 愉太, 香坂 玲
2. 発表標題 グリーンインフラとコロナ禍での行動変容
3. 学会等名 第3回研究連携オンラインセミナー 名古屋大学大学院 環境学研究科 減災連携研究センター (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Ryo Kohsaka, Yuta Uchiyama, Yoshitaka Miyake, Yoshiaki Nishikawa, Kazuo Watanabe
2. 発表標題 Transmission of traditional knowledge as multi-scale commons with geographical boundaries: Use of geographical indications and application of convention theory
3. 学会等名 IASC-RIHN ONLINE WORKSHOP ON COMMONS, POST-DEVELOPMENT AND DEGROWTH IN ASIA (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Yoshitaka Miyake, Yuta Uchiyama, Ryo Kohsaka
2. 発表標題 The comparative analysis of the expansion of organic agriculture and the preservation of commons in Japan and Europe through convention theory
3. 学会等名 IASC-RIHN ONLINE WORKSHOP ON COMMONS, POST-DEVELOPMENT AND DEGROWTH IN ASIA (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 香坂玲
2. 発表標題 生物多様性保全の国際動向と環境教育への示唆：伝統野菜による教育実践の枠組みの考察から
3. 学会等名 日本環境教育学会 関東支部総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 香坂玲
2. 発表標題 国際指標から考える相乗効果とトレード・オフ：持続可能な開発目標・生物多様性保全の達成に向けて
3. 学会等名 公開シンポジウム 「人と森とSDGs 東アジアからの報告」 （新型コロナウイルス対策のため中止）（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Kohsaka, R., Miyake Y., Uchiyama Y.
2. 発表標題 Facilitating rural development and sustainability with GI: From tradition, to environment with products, to place-based GIAHS registration
3. 学会等名 From local to global, the challenge of Geographical Indications: International and Japanese perspectives（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 香坂玲
2. 発表標題 グローバル行政ネットワークと科学と政策の対話に向けた課題：IPBES・生物多様性条約の現場から
3. 学会等名 グローバル行政ネットワークと国際機関：地球と共生するためのガバナンスの在り方を模索して（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 香坂玲
2. 発表標題 2020年 愛知・なごや から考える生物多様性の未来：生物多様性条約とIPBESに関わる最新の動向から
3. 学会等名 2019年度環境カウンセラー研修（中部地区）（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 香坂玲
2. 発表標題 現場から考える IPBES : 欧州と日本にみる社会変革の萌芽
3. 学会等名 自然共生社会の実現に向けた社会変革 IPBES地球規模評価を踏まえて次期生物多様性世界目標を考える (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 香坂玲
2. 発表標題 Future Earth 自然資本KAN・IPBES・生物多様性条約の動向から
3. 学会等名 Future Earth 日本サミット 生物多様性分科会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 香坂玲
2. 発表標題 知財としての自然資本・生物多様性：社会制度の最前線 趣旨説明
3. 学会等名 日本知財学会 第17回年次学術研究発表会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 香坂玲
2. 発表標題 Where is Japanese forest policy going? Forest environment transfer tax scheme and management changes
3. 学会等名 公開セミナー ヨーロッパ森林研究所 (EFI) ボン大学 開発研究センター (ZEF) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 香坂玲
2. 発表標題 Sharing traditional knowledge of ethnic foods with Geographical Indications; Cases of vegetables and bee keeping
3. 学会等名 2019 JEF International Symposium -Sustainability of Ethnic Foods and Beyond (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 香坂玲
2. 発表標題 Cross-sector Initiatives: Cases from Geographical Indications
3. 学会等名 Science-Policy Dialogues on the Assessment of Biodiversity and Ecosystem services: Southeast Asia & Northeast Asia (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 香坂玲
2. 発表標題 Spiritual Values of deadwood in different times and cultures (Europe and Asia): Profane or sacred?
3. 学会等名 Learning Lab. Spurring INnovations for forest eCosystem sERvices in Europe (SINCERE) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 香坂玲
2. 発表標題 生物多様性に関わる最新の動向と我が国への示唆：IPBESと生物多様性条約の動向
3. 学会等名 エコイノベーションとエコビジネス(SPEED)に関する研究会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ryo Kohsaka, Yuta Uchiyama, Kaoru Kakinuma, Jay Mar, D. Quevedo, Kevin Muhamad Lukman
2. 発表標題 Application of REDD+ scheme for Blue Carbon Ecosystem Management: Potentials and Challenges
3. 学会等名 XXV IUFRO World Congress (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 香坂玲
2. 発表標題 The Link among Biodiversity, Traditional Knowledge, and Intellectual Property Education: Activities with Traditional Vegetables and Native Varieties toward COP15 Kunming
3. 学会等名 XTBG Seminar; Chinese Academy of Sciences. Xishuangbanna Tropical Botanical Garden (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 KOHSAKA Ryo, UCHIYAMA Yuta
2. 発表標題 Transmission of traditional knowledge for production of non-timber forest products: explicit knowledge and Geographical Indication
3. 学会等名 Transforming Approaches to Forests & Forestry through Traditional and Local Knowledges (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 QUEVEDO M Jay, UCHIYAMA Yuta, KOHSAKA Ryo
2. 発表標題 Mangrove Forests & Coastal Residents: Understanding the Management and Local Threats in the Municipalities of Eastern Samar and Aklan, Philippines
3. 学会等名 Transforming Approaches to Forests & Forestry through Traditional and Local Knowledges (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 香坂玲
2. 発表標題 日本の森林政策の動向： 森林経営管理法と森林環境譲与税
3. 学会等名 韓国 国立森林科学研究所セミナー（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 香坂玲
2. 発表標題 知財教育における産品認証制度の活用： 題材としての伝統野菜・地理的表示保護制度の産品による 地域観光戦略
3. 学会等名 日本教育学会 第78回大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ryo Kohsaka, Yuta Uchiyama, Kaoru Kakinuma, Jay Mar, D. Quevedo, Kevin Muhamad Lukman, Dheanara Pinka
2. 発表標題 Evaluating the Current Issues and Challenges on Blue Carbon Ecosystems from Social Science and Policy Perspectives
3. 学会等名 5th Mangrove and Macrobenthos Meeting (MMM5) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Jay Mar Quevedo, Kaoru Kakinuma, Yuta Uchiyama, Ryo Kohsaka
2. 発表標題 Blue carbon local governance in the Philippines: Analysis of the mangrove management plans in municipal level
3. 学会等名 5th Mangrove and Macrobenthos Meeting (MMM5) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kevin Muhamad Lukman, Ryo Kohsaka, Yuta Uchiyama, Kaoru Kakinuma
2. 発表標題 Local Policies and Activities for Mangrove Conservation in Indonesia: Suggestion for Sustainable Aquaculture
3. 学会等名 5th Mangrove and Macrobenthos Meeting (MMM5) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 香坂玲
2. 発表標題 Transformative changes and forest transition, restoration and ecosystem services and NCPs: Experience from IPBES and CBD processes
3. 学会等名 アジア太平洋林業ウィーク APFW 2019 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 香坂玲
2. 発表標題 愛知目標・SDGsの指標の功罪 -生物多様性条約の議論を中心に-
3. 学会等名 東海地域から発信するフューチャー・アース (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Jay Mar Quevedo, 香坂玲, 内山愉太
2. 発表標題 Ecosystems services of Mangrove Ecosystems from local perspectives: utilization and awareness in the municipalities of Aklan and Eastern Samar, Philippines
3. 学会等名 熱帯生態学会 第29回
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 香坂玲
2. 発表標題 生物多様性・生態系サービスの最前線：価値をどう見える化するのか
3. 学会等名 第5回名古屋大学の卓越・先端・次世代研究 シンポジウム
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 香坂 玲, 内山愉太
2. 発表標題 愛知目標・SDGsにおける指標間の関係性と民間参画推進に向けた科学・政策対話、学術研究の総合的解析
3. 学会等名 環境経営学会第19回定期総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Jay Mar Quevedo, 香坂 玲, 内山愉太
2. 発表標題 Perceptions of coastal communities on blue carbon ecosystems services at the municipalities of Eastern Samar and Western Visayas, Philippines
3. 学会等名 Japan Geoscience Union Meeting
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 香坂玲、梶間周一郎、内山愉太
2. 発表標題 林産品と地理的表示の保護制度：国際情勢と岩手県の切炭を事例として
3. 学会等名 第130回日本森林学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 梶間周一郎、内山愉太、香坂玲
2. 発表標題 自治体林政の政策波及：森林環境税と森林づくり条例を事例に
3. 学会等名 第130回日本森林学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 柿沼薫、内山愉太、梶間周一郎、香坂玲
2. 発表標題 極端な気象現象による人々の移動：アジアにおける比較
3. 学会等名 日本生態学会第66回全国大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Inoue, S., Ito, N., Uchiyama, Y. and Kohsaka, R
2. 発表標題 Sustainable Development Utilizing Local Agricultural Resources: Network Analysis among Social Organizations in Tsuruoka, Noto and Aso Area in Japan
3. 学会等名 2019 Annual Conference of Agricultural Economics Society of Japan
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Rogel M., Montemayor G., Uchiyama Y., Kohsaka R.
2. 発表標題 Citizen Science for Forest Biodiversity Conservation: What Shapes Intention to Participate?
3. 学会等名 2019 Citizen Science Association Conference (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Rogel M., Montemayor G., Uchiyama Y., Kohsaka R.
2. 発表標題 Human-Nature Perspectives and Intention to Participate: Engaging Forest Dwellers in Citizen Science for Biodiversity Conservation
3. 学会等名 15th International Conference on Environmental, Cultural, Economic & Social Sustainability (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 香坂 玲、松岡光、内山愉太
2. 発表標題 遺伝資源をめぐる利益配分に関する国際的な研究動向と論文ネットワークの考察：遺伝資源、遺伝子情報の持続可能な活用に向けて
3. 学会等名 日本知財学会第16年次学術研究発表会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 内山愉太、藤平祥孝、香坂玲
2. 発表標題 バイオミメティクスに関する国際的な特許出願動向に対する企業関係者の認識と技術開発への関わりに関する考察
3. 学会等名 日本知財学会第16年次学術研究発表会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 梶間周一郎, 内山愉太, 香坂玲
2. 発表標題 農林水産品の知的財産保護政策の政策過程：アジアにおける地理的表示政策を題材に
3. 学会等名 日本知財学会第16年次学術研究発表会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 香坂玲、内山愉太、藤平祥孝
2. 発表標題 三つの技術報告書の発刊へ ISO/TC266バイオメティクスWG4報告
3. 学会等名 バイオメティクスの国際標準化と海外研究動向 18-3 バイオメティクス研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kohsaka R., Tashiro, A., Uchiyama Y.
2. 発表標題 Municipal urban biodiversity managements with participation of citizens and collaboration of multiple sectors: Challenges and potentials
3. 学会等名 Urban Transitions 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Uchiyama Y., Tashiro A., Kohsaka R.
2. 発表標題 Sustainable managements of green and blue infrastructures in urban areas with rapid aging: Citizens' attitudes toward their neighbouring environment
3. 学会等名 Urban Transitions 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Tashiro A., Uchiyama Y., Kohsaka R.
2. 発表標題 Residents' preferable option for Green infrastructure: A case study of disaster-stricken urban areas, Japan
3. 学会等名 Urban Transitions 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Lukman, K. M., Kajima S., Kakinuma K., Uchiyama Y., Kohsaka R.
2. 発表標題 Comparative Analysis of Indonesia's Mangrove Policy at National and Regional Level -An Experience from BlueCARES Project for Governance of Blue Carbon Ecosystem
3. 学会等名 林業経済学会2018年秋季大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 梶間周一郎、内山愉太、香坂玲
2. 発表標題 自治体の森林環境税の導入動態-階層的クラスター分析を用いたアプローチ-
3. 学会等名 林業経済学会2018年秋季大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kohsaka, R., Uchiyama, Y.
2. 発表標題 Non-market food provisioning services via communal sharing and use of Geographical Indications in satoyama socio-ecological production landscapes on Japan's Noto peninsula
3. 学会等名 World Social Science Forum (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kohsaka R., Kajima, S., Uchiyama, Y.,
2. 発表標題 Citizen science and science-policy interface: Towards sustainable forest managements
3. 学会等名 10th International Conference on Ecological Informatics (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 井上 荘太郎、伊藤 紀子、高橋 克也、市川 容子、内山 愉太、香坂 玲
2. 発表標題 地域振興における多様な組織の連携構造-鶴岡市における社会ネットワーク分析
3. 学会等名 日本農業経営学会2018年研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 香坂 玲
2. 発表標題 伝統野菜・養蜂を活用した教育実践の試み日中韓における異文化と遺産資源、知的財産の理解に向けて
3. 学会等名 日本教育学会 第77回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 香坂 玲(報告者) 世良 清(企画者)
2. 発表標題 知的財産の教育研究を構築するために -普通教育での知財の学習を考える
3. 学会等名 日本教育学会 第77回大会 知財教育ラウンドテーブル
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Uchiyama, Y., Kohsaka, R.
2. 発表標題 How Does Accessibility Affect the Perceived Values by Visitors of Tourism Resources? Quantitative Analysis of Academic Literature of MAB and GIAHS
3. 学会等名 COMSA 2018: The 5th Conference on Management and Sustainability in Asia (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 内山愉太、梶間周一郎、香坂玲、小柴有理江、井上荘太郎、伊藤紀子、浅井真康
2. 発表標題 持続可能な農村地域メンジメントに資する社会組織のネットワーク構造～能登の世界農業遺産認定地域を対象として～
3. 学会等名 2018年度日本フードシステム学会大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kajima, S., Tashiro, A., Uchiyama, Y., Kohsaka, R.
2. 発表標題 Diffusion of Forest Policy towards Sustainable Use and Governance of Natural Resources: Event History Analysis of Regional Forest Policy in Japan
3. 学会等名 2018 Circular Economy for Agri-Food Resource Management (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Tashiro, A., Uchiyama, Y., Kohsaka, R.
2. 発表標題 Marine Circular Economy towards Community-Based Post-Disaster Reconstruction: Experience of a Small Coastal Town, Northeast Japan
3. 学会等名 2018 Circular Economy for Agri-Food Resource Management (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Uchiyama, Y., Tashiro, A., Kajima, S., Kohsaka, R.
2. 発表標題 REDD+ for Blue Carbon Ecosystems: A Literature Review
3. 学会等名 2018 Circular Economy for Agri-Food Resource Management (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kohsaka, R., Kajima, S., Tashiro, A., Uchiyama, Y., Park, M. S.
2. 発表標題 The Political Ecology of Regional Names on Agricultural Products; Governing Boundaries and Qualities through Geographical Indications
3. 学会等名 2018 Circular Economy for Agri-Food Resource Management (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kohsaka, R.
2. 発表標題 Transition to a Cycle-Oriented Society in Japanese Agriculture and Knowledge System: From Traditional Knowledge in Satoyama, Geographical Indications and Agriculture 4.0
3. 学会等名 2018 Circular Economy for Agri-Food Resource Management (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 久慈淳一郎、香坂玲、内山愉太、松岡光
2. 発表標題 日本企業の環境負荷軽減に対する取り組みの経年変化の考察にむけた先行研究レビュー～統合報告書に着目した方法論に関する一考察～
3. 学会等名 2018年度環境経営学会研究報告大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Lukman, K. M., Uchiyama Y., Kohsaka R
2. 発表標題 Community Based Management of Mngrove Ecosystem in Java Island
3. 学会等名 日本評価学会春季第15回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 市川智子、内山愉太、田代藍、香坂玲
2. 発表標題 Trends Academic discourse of environmental ODA: Quantitative Approaches in review research
3. 学会等名 日本評価学会春季第15回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Uchiyama, Y., Kohsaka R.
2. 発表標題 Why urban biodiversity matters? The motivations for cities to develop conservation and education programs
3. 学会等名 The 8th EAFES International Congress (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Imai, H., Kohsaka R., Nakashizuka, T.
2. 発表標題 Citizen science data as an approach for study of connection with nature: Trends of 15 years in observation frequency for 12 species by students and adults in Sendai
3. 学会等名 The 8th EAFES International Congress (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Y. Uchiyama, R. Kohsaka
2. 発表標題 How much are biodiversity mainstreamed in urban municipalities? Status of mainstreaming efforts with urban biodiversity indicators in major Japanese cities
3. 学会等名 The International Society for Ecological Modelling Global Conference 2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1 . 発表者名 Y. Tanaka, R. Kohsaka
2 . 発表標題 Effects of geopark visits for education: Regional certifications as an educational tool for conservation of local resources in socio-ecological perspectives
3 . 学会等名 The International Society for Ecological Modelling Global Conference 2017 (国際学会)
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 R. Kohsaka, Y. Uchiyama
2 . 発表標題 Status of Apiculture and effects of ecological conditions in Japan: How knowledge of beekeeping is transmitted in intergenerational manner
3 . 学会等名 The International Society for Ecological Modelling Global Conference 2017 (国際学会)
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 R. Kohsaka, Y. Uchiyama
2 . 発表標題 Schemes of Benefit Sharing in alternative livelihood strategies: Potential of Geographical Indications of Non Timber Forest Products
3 . 学会等名 International Union of Forest Research Organizations 125th Anniversary Congress (国際学会)
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 R. Kohsaka, Y. Uchiyama
2 . 発表標題 Spatial analysis of forest environmental tax as a scheme of Payment for Ecosystem Service: Suggestions to the REDD+
3 . 学会等名 International Union of Forest Research Organizations 125th Anniversary Congress (国際学会)
4 . 発表年 2017年

1. 発表者名 Y. Uchiyama, R. Kohsaka
2. 発表標題 Analysis on accessibility of urban forest: Towards enhancement of well-being in urban regions
3. 学会等名 The 3rd International Conference on Landscape and Human Health: Forests, Parks and Green Care (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 R. Kohsaka, Y. Uchiyama
2. 発表標題 Local strategies on conservation of urban biodiversity: Relationships between the conservation and sustainable urban forest management for quality of life
3. 学会等名 The 3rd International Conference on Landscape and Human Health: Forests, Parks and Green Care (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 梶間周一郎, 内山愉太, 香坂玲
2. 発表標題 なぜ人工林は管理されていないのか: 地籍制度と超高齢化社会
3. 学会等名 第129回日本森林学会大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 R. Kohsaka, Y. Uchiyama, A. Tashiro, M. S. Park
2. 発表標題 Sustainable Tourism Managements with Regional Designations Experience from Rural Areas in Japan
3. 学会等名 The 83rd TOSOK International Tourism Conference (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 R. Kohsaka
2. 発表標題 Place branding and use of geographical indications for rural community development in agriculture and forestry: Experience from Japan and its implications for ASEANs.
3. 学会等名 International Forum on Education for Rural Transformation (IFERT) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 R. Kohsaka
2. 発表標題 Washoku and Traditional Vegetables' Socio-Ecological Aspects and Roles for Sustainable Development.
3. 学会等名 Sikchi Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 R. Kohsaka
2. 発表標題 Bee honey production and ecological knowledge: Knowledge transmission for sustainable NTFP production.
3. 学会等名 The 10th International Conference on Traditional Forest Knowledge and Culture in Asia (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

〔図書〕 計5件

1. 著者名 香坂玲, 石井 圭一	4. 発行年 2021年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 64
3. 書名 有機農業で変わる食と暮らし ヨーロッパの現場から	

1. 著者名 内山愉太, 香坂玲	4. 発行年 2021年
2. 出版社 シーエムシー出版	5. 総ページ数 367
3. 書名 バイオミメティクス・エコミメティクス 持続可能な循環型社会へ導く技術革新のヒント 第5章 生物多様性とバイオミメティクス	

1. 著者名 香坂 玲, 梶間周一郎	4. 発行年 2021年
2. 出版社 丸善出版株式会社	5. 総ページ数 694
3. 書名 森林学の百科事典 担当箇所：企業の森林 CSR/CSV	

1. 著者名 Karki, M., Senaratna Sellamuttu, S., Okayasu, S., Suzuki, W., Acosta, L.A., Alhafedh, Y., Anticamara, J.A., Ausseil, A.G., Davies, K., Gasparatos, A., Gundimeda, H., Faridah-Hanum, I., Kohsaka, R. et al.(eds.)	4. 発行年 2018年
2. 出版社 IPBES secretariat, UN Campus	5. 総ページ数 44
3. 書名 Summary for policymakers of the regional assessment report on biodiversity and ecosystem services for Asia and the Pacific of the Intergovernmental Science-Policy Platform on Biodiversity and Ecosystem Services	

1. 著者名 Fujihira, Y., Uchiyama, Y., Kohsaka, R.	4. 発行年 2019年
2. 出版社 PAN STANFORD PUBLISHING	5. 総ページ数 p.442 (pp.340-374)
3. 書名 Trends and Characteristics of Biomimetic Technology : Towards Social Implementation, In Lifestyle and Nature: Integrating Nature Technology to Sustainable Lifestyles	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
主たる渡航先の主たる海外共同研究者	ユン イエオチャン (Youn Yeo-Chang)	ソウル国立大学・森林科学部・名誉教授	
主たる渡航先の主たる海外共同研究者	パク ミスン (Park MiSun)	ソウル国立大学・国際農業技術研究科・准教授	
主たる渡航先の主たる海外共同研究者	リュウ ジンロング (Liu Jinlong)	中国人民大学・農業経済農村開発学部・教授	
主たる渡航先の主たる海外共同研究者	ペンカー マリアンネ (Penker Marianne)	ウィーン天然資源大学 (BOKU)・Department of Economics and Social Sciences・教授	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関			
韓国	ソウル国立大学			
韓国	ソウル国立大学			
韓国	ソウル国立大学			